

Naples(ナポリ)

<アクセス>

港はBEVERELLO 港（**STAZIONE MARITTIMA**）。市内に位置している為、シャトルバスはありません。

ナポリ市内の観光は徒歩圏内。[ナポリでのタクシー利用は、必ず乗車前に値段交渉が必要。](#)

カプリ島 / ソレント / イスキア島行のハイドロジェットfoil乗り場はターミナルを出てすぐ左横に位置します。

（停泊ターミナルより徒歩 5 分） ハイドロジェットfoil料金は、行き先と運行会社によって異なります。

<http://www.capritourism.com/en/ship-timetable>

※ 本船主催、寄港地観光ツアーの中にカプリ島ツアーはありますが、ツアーでは「青の洞窟」は行きませんのでご了承ください。

（天候に左右されやすいため）ご希望の方は別紙「青の洞窟の行き方」をご参考ください。



ナポリ(Napoli)

「ナポリを見てから死ね」と言われるほど風光明媚な土地としても知られています。独自のナポリ方言が話されていてナポリ語での名称はナブレ(Napule)となります。またイタリア以外の外国人が想像する、輝く太陽と温暖な気候、陽気な人々というイタリアのイメージはこの都市が元になっています。一方で、今日でもマフィア、カモーラによる影響が強い都市としても有名です。ピザ（ピッツァ）の起源アラブ圏のパンの一種ピタがナポリに伝わりナポリでピッツァと呼ぶようになったと言われています。ナポリピッツァの代表がマルゲリータです。これは統一イタリア王国のマルゲリータ王妃が 1889 年 6 月ナポリ来訪の折、ブランディという店がイタリアの 3 国旗を模してトマト（赤）バジリコ（緑）モッツアレラチーズ（白）で生地を飾って捧げたことに由来しています。スフォリアテッレはナポリ名物の焼き菓子です。ちなみにスパゲッティーナポリタンは日本人が考案した日本独自の料理であって、ナポリとは全くとっていいほど関係がありません。イタリア料理が日本に広く普及した今日においてはあまりにも有名なエピソード。

ヌオーボー城

「新しい城」の名がついたこの城はフランス・アンジュー家のシャルル I が 13 世紀後半に建てたもの。別名マスキオ・アンジョイー。周りを濠で囲まれ、正面には円筒状の 3 つの塔が建つ姿は堂々として威厳すら感じさせます。大改築の折に 15 世紀のナポリ王であったスペイン・アラゴン家のアルフォンソ I が建立した凱旋門もあり、ここにはアラゴン家を称える彫刻が施されています。

王宮

17 世紀スペイン治政下に建造、18 世紀まではナポリ王が住まなかった王宮。正面プレジビート広場に面して、ノルマンのロジャー王からヴィットリオ・エマヌエーレ II まで 8 人のナポリ王立像が納められ、18～19 世紀の家具・陶磁器・絵画など美術品が展示されています。

サンタ・ルチア

世界三大美港のひとつ、サンタ・ルチア港を中心にナポリ湾を望む港町。ナポリ民謡の名曲「サンタ・ルチア」の舞台としても知られています。卵城は、12 世紀に美しい海岸通りから海に張り出して築かれた古城。

ポンペイ(Pompei)

ポンペイ遺跡

はるか昔人口 16,000 人を数え商業都市として繁栄したポンペイ。紀元 79 年ベスビオ火山の大噴火により瞬時に火山灰の下に埋もれた悲劇の都。遺跡として発掘が始められたのは 16 世紀末。リアルに残された 1900 年前の生活の様子には驚くばかり。発掘は現在も続いています。ナポリ中央駅～ポンペイ遺跡最寄り駅まで約 35 分。最新の時刻表・乗車賃はイタリア国鉄サイトをご参照ください。

<http://www.trenitalia.com>

又は、ヴェスヴィオ周遊鉄道 (Circumvesuviana) にて → ポンペイ遺跡最寄り駅 (POMPEI SCAVI) までいくこともできます。

<https://www.eavsr.it/web/circumvesuviana>

カプリ(Capri)

カプリ島は大きくカプリ地区とアナカプリ地区に分かれています。カプリ地区はウンベルト一世小広場（通称：ピアツェッタ）やサンステファノ教会があり、土産物店や高級店も多く観光客で賑わっています。ナポリからの高速船・フェリーはマリーナ・グランデ港に着きます。船着き場のすぐ隣にツーリストインフォがあります。地図は 1 ユーロで販売しています。

カプリ地区

船着き場の道を真っすぐ進むと土産物店やカフェが並ぶコロポ通りにつづかります。丘の上のカプリ地区のウンベルト一世広場へ上るフニコラーレ（ケーブルカー）の駅もすぐ見つかります。島の人々が集うかわいらしいウンベルト一世広場は、つい楽しい会話に参加したくなるこじんまりした広場です。周囲にはたくさんの路地があり、土産物店や高級品店が軒を並べ、活気にあふれています。

ウンベルト一世広場へはバスで行くことも可能です。フニコラーレとバスのチケットは共通券として販売されています。

＜マリーナ・グランデ港～ウンベルト一世小広場＞

フニコラーレとバスの共通チケット：約 2 ユーロ（片道）

アナカプリ地区

アナカプリ地区はソーローロ山中腹の高台にあり、どちらかというのどかな雰囲気のある町です。カプリ島の全景が見渡せるソーローロ山頂へはチェアリフトで上がれます。また、ヴィラ・サン・ミケーレ（アクセル・ムンテの別荘）も見どころの一つです。

＜ソーローロ山へのチェアリフト＞ 1 人あたり 約 8 ユーロ（片道）／約 11 ユーロ（往復）。所要約 12 分。

＜ヴィラ・サン・ミケーレの入場料＞ 1 人あたり 約 8 ユーロ

青の洞窟

今や世界的に有名なカプリ島観光の目玉「青の洞窟」。ここでは、カプリ島を囲む明るい青とは異なる神秘的な青が楽しめます。洞窟内が青く輝くのは、太陽光線が海水を通過して洞窟内に入るため。ボートに乗って、わずか 1 メートルの開口部をくぐると、青い幻想的な空間が広がります。奥行き 54 メートル、高さ 15 メートルの洞窟は決して広くはありませんが、青い光に包まれた体験はいつまでも心に残ることでしょう。

***寄港地の情報は予告なく変更になる場合があります。上記は参考になります。最終情報は船内で再確認ください。**

2019 年 9 月現在